



壁に塗る、安心と快適。

LES SHIKKUI

アレスシックイ 外部用

外部用カタログ



低臭



防火機能



調湿

KANSAI
PAINT

その漆喰壁、 アレスシックイ外部用で 塗りかえませんか？

いにしえより日本に伝わる伝統的な壁塗材である“漆喰”は、
自然素材独特の風合いと質感に加え、主成分である消石灰
(水酸化カルシウム)の効果によるさまざまな機能を有しています。
漆喰塗料「アレスシックイ(外部用)」は、この優れた自然素材である
「漆喰」の機能をそのままに、高度な左官技術を必要としない、
取り扱いしやすい、いわば「塗料状態化した漆喰」です。
ぐんと身近に手軽になった「シックイ壁」を、是非お試しください。



**ALES
SHIKKUI**

アレスシックイ 外部用

これまで「漆喰壁」を塗り替える場合、決定打になる仕様がありませんでした。しかし、これからは「漆喰塗料アレスシックイ(外部用)」です。漆喰本来の良さを見直し、風合いを損なうことなく、優れた機能性を最大限に発揮した画期的な壁塗材です。ハケやローラーによる一般的な塗装方法で施工が可能です。広範囲に手軽に漆喰壁が再現できます。

四天王寺(大阪府)



小田原城(神奈川県)



特長 1

ハケ・ローラーでの施工が容易です。



特長 2

低臭で揮発性有機化合物をほとんど含みません。
(TVOC 0.01%以下)



特長 3

燃えにくく防火機能に優れています。



特長 4

消石灰が有する吸湿機能により結露抑制に有効です。

壁に塗る、安心と快適。



アレスシクイ 外部用

部 位：漆喰仕上面（外部）など 塗装仕様：消石灰系仕上げ塗材		品名：アレスシクイ外部用含浸シーラー 色：透明 容量：15kgセット（ベース12kg/硬化剤3kg）	品名：アレスシクイ外部用バインダー 色：白 容量：15kg	品名：アレスシクイ（外部用） 色：ホワイト 容量：15kg・4kg	
工程	塗料と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1 素地調整	表面のゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。				
2 含浸塗り	アレスシクイ外部用含浸シーラー ベース／硬化剤＝4／1	0.20～0.40	16時間以上7日以内	刷毛／ローラー	0
3 中塗り	アレスシクイ外部用バインダー／上水	0.12	2時間以上7日以内	刷毛／ローラー	3～10
4 上塗り(1回目)	アレスシクイ（外部用）／上水	0.16	4時間以上7日以内	刷毛／ローラー	5～10
5 上塗り(2回目)	アレスシクイ（外部用）／上水	0.20	—	刷毛／ローラー	5～10

(注) (1)標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。特に含浸シーラーは、増減幅が大きいのでご注意ください。
(2)上塗りの標準塗り付け量は、1回目0.12(kg/m²/回) 2回目0.15(kg/m²/回)です。
(3)色相は「ホワイト」のみです。(調色は行いません)

製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

施工時の注意事項

塗装時の注意事項

- 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 含浸塗りとして、漆喰仕上げ面にアレスシクイ外部用含浸シーラーを均一に塗装してください。表層が濡れ色になるまで充分に塗りこんでください(追っかけで1～2回)。外部用バインダー塗装前にセロテープなどを貼り付けセロテープに白い粉が付かない事を確認してください。万一、セロテープに粉が付くような状態の場合、アレスシクイ外部用含浸シーラーを増し塗りし、セロテープに白い粉が付かない状態にしてください。
- 含浸塗りとしてアレスシクイ含浸シーラーのほか、浸透形シーラーも使用できます。
- 中塗りのアレスシクイ外部用バインダー塗装の際は、補修部を刷毛で先行拾い塗りを行い、その後ローラーで全面を塗装してください。バインダーの塗装は、下地を隠蔽させるようにしっかり塗り込んでください。
- 上塗り用のローラーは、「WAKABA<大塚刷毛製造(株)>」または、「ハイブリッドローラー<好川産業(株)>」「アレス漆喰ローラー(株式会社カンベハビオ製)」を推奨します。必要な場合はナイロン刷毛を使用してください。(アレスシクイはアルカリ性のため、獣毛刷毛は早期に劣化します。)
- ローラーは使用前に十分に余り毛を除去してください。
- 上塗り(1回目)は、均一にEP塗りの感覚で塗装してください。
- 上塗り(2回目)は、下層膜の影響を受け乾燥が早いため、手早く仕上げるようにしてください。何度もうローラーで擦ると艶が変わったり、肌が荒れたり仕上がりを悪くする要因となります。
- 上塗り(2回目)を塗装する際は、塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装してください。
- 本品を施工後、降雨、紫外線等の影響で表面に白粉が生じますが、これは漆喰特性上の現象であり塗膜異常ではございません。
- 乾燥状況により、表層の粉化物が雨水等で流れ落ちる場合があります。
- 本品は、補修性が悪いため施工の際は十分にご注意ください。
- 移し替える塗料容器や塗装機器はステンレスまたはプラスチック製のものをご使用ください。アレスシクイの塗料がアルミ材質の容器や塗装器具等に接触すると、化学反応によりアルミ材を腐食させ、ガス発生により密閉容器が膨張・破裂する危険がありますのでご注意ください。
- 一般の水性塗料と混合するとゲル化等の不具合が生じます。容器や塗装用具は一般のものとして用を分ける等の管理をお願いします。
- シーリング材上の塗装は避けてください(後打ちとしてください)。一般の艶消し塗料と同様、シーリング部の伸縮に塗膜が追従できずフクレが発生します。また、シーリング材に含有される可塑剤が塗膜にブリードし濡れ色(黒ずみ)になります。
- 塗装直後の降雨などにより塗料成分が溶出し、塗装部位の下部に流れ跡が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- カタログの希釈率を遵守してください。薄めすぎは隠蔽力不足、色ムラなど仕上がり不良の原因となりますので規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 気温5℃以上、湿度75%RH未満の環境で塗装管理(塗装時とその前後)してください。高湿度下での塗装を避けてください。
- 棒塗りで手早く仕上げてください。(塗り残しやローラー・耳に注意)アレスシクイの塗膜は多孔質なため、特に2回目塗装時に1層目の塗膜へ吸水し、乾燥が早くなります。戻ってローラーを均す塗装作業を繰り返すほど肌あれを起こしやすくなりますのでご注意ください。また、ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるようにしてください。
- 仕上げ後についた軽度な擦りキズの補修は、筆差し、ペーパー研磨、スプレーボガン塗り等で最小限の部分補修としてください。(ローラー、刷毛でのタッチアップを行うと目立ちやすいため)この方法で困難な場合は、見切りのよい面までの再塗装を行ってください。

下地調整

- 被塗面を清浄な面としてください。
- 欠損部は市販の「補修用漆喰」にて補修、穴埋めしてください。

養生等

- 施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。
- 養生テープは「車両用マスキングテープNo.7239(日東電工社製)」をご使用ください。他の種類の養生テープでは、テープ粘着剤がシクイ面に残存し変色するおそれがあります。なお、長時間の貼付は部分的に黄変することがありますので、できるだけ早くとり外してください。

材料の保管調整

- 材料保管は、直射日光を避け、屋内保管(5℃～30℃)としてください。
- アレスシクイ外部用含浸シーラーは2液形です。配合比率を厳守の上ハンドミキサーでよく攪拌して均一な状態にしてからご使用ください。
- 中塗り材及び上塗り材は希釈に上水を添加後、必ずハンドミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。
- 使用前にハンドミキサー等で均一に攪拌した後、ご使用ください。
- 乾燥した塗膜片が塗料に混ざり塗装されると仕上りを損ないます。休憩時間は水分の蒸発がないよう容器を密閉保管してください。また開封後の塗料はできる限り一度に使い切ってください。開封及び希釈した貯蔵塗料を使用すると正常な仕上りを得られないおそれがあります。

その他注意事項

- 降雨が予想される場合は、施工を避けてください。
- 上記塗り重ね乾燥時間は、温度23℃・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますのでご注意ください。
- 本品取り扱い中は、充分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください。(光沢ムラが発生する場合があります。)
- 本品取り扱い中は、皮膚に付着しないよう専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください。(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります。)
- 安全に取り扱っていただくため、ご使用前に必ずSDS(製品安全データシート)をご確認ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目 に 入 っ た 場 合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸 入 し た 場 合：空气の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲 み 込 ん だ 場 合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

関西ペイント販売株式会社

☎ 関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東 京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

北 国 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

中 部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981

北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

大 阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中 国 TEL (0822) 262-7101 FAX (082) 264-3285

四 国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

九 州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(22年03月21日PKO) カタログNo.664